



涌小通信

知内町立涌元小学校

〈学校教育目標〉

よく考える子 思いやりのある子 健康な子

重点教育目標「粘り強く学び 最後までやり切る心をもった子供の育成」

令和4年12月23日発行

子供を大切にすること

校長 柳澤 満

二学期も今日で終了となります。師走に入ってから、一気に雪が積もりました。寒さも厳しくなり、身も心も凍えるような日々が続きましたが、元気に登校してくる子供たちの姿を見ると、ぽかぽかと心が温かくなりました。

さて、12月には学習参観日と個人懇談会が行われました。お子さんの様子はいかがだったでしょうか。一学期と比べて成長ぶりは感じられたでしょうか。

人にはそれぞれ得意不得意があります。私たち大人にも自分が認める得意不得意があるように、当然子供たちにもあるのです。大きな声の子、小さい声の子。人前に出るのが好きな子、嫌いな子。発表するのは好きだけど、身体を動かすのは苦手な子。みんなそれぞれ違うから、一つにまとまった時にすばらしい力を発揮するのです。そして、子供たちは必ず少しずつでも成長しているのです。全てにおいてパーフェクトな人間はいません。不得意なことを得意にできるように努力することはとても大事ですが、不得意なことを責めたり叱ったりすることが親や先生の役目ではなく、どうやったらうまくいくようになるかアドバイスをしたり、不得意を得意に近づけてあげたりするのが、親や先生の役目なのだと思います。少しの成長を認めて褒めてあげるだけで子供はどんどん成長していきます。これからもお子さんが自分に自信をもって生きていくために、良さをたくさん見つけてあげたいものです。短所も見方を変えれば長所になるのではないのでしょうか。

子供は、大事にされたり、大事にしてくれる人がいたり、優しくしてくれたり、可愛がってくれたりする人がいるからこそ、頑張れます。そして、その思いは、大人になっても自分を支えてくれます。

(12月11日 教育懇談会の資料より)



涌元小学校の12月が終わります。4月、新しい学級担任にかしこまった表情を見せていた子供たちも、今ははじけるような笑顔で元気な姿を見せています。

そんな素敵なお子さんの笑顔に、これからは温かい心を持って子供たちと接していきたいと思っています。

最後になりましたが、新しい年に期待を込めて、どうぞ良いお年をお迎えください。二学期の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。三学期もどうぞよろしくお願いいたします。